

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 2 年 1 月 24 日

設置・運営主体	社会福祉法人		
設置主体			
経営主体	すこやか福祉会		
事業所名 (施設名)	八潮かえで保育園	種別	保育所
所在地	〒 340-0822 埼玉県八潮市大瀬二丁目1番地8		
電話	048-994-3007		
FAX	048-994-3008		
Email	yashio-kaede-hoikuen@sukoyaka-fu.or.jp		
URL	http://kaede.sukoyaka-fu.or.jp/		
施設長氏名	石井 良子		
調査対応担当者	(所属、職名：)		
利用定員	85 名	開設年	平成 25 年 4 月 1 日
理念・基本方針	<p>その子らしさを大切に八潮かえで保育園が大切にしている4つのこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく食べ、よく遊び、よく眠る健康な子ども ・豊かな感性を持ち、力いっぱい表現する子ども ・仲間の中で育ちあい、生き物や自然を大切にする子ども ・自分の要求がしっかりことばで表現できる子ども <p>保育理念</p> <p>子どもの発達保障と保護者支援、地域に根ざした保育園づくりに努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの最善の利益を守り、成長発達の権利を保障する保育園 ○保護者と一緒に“共に育て合い、共に育ちあう”を大切にする保育園 ○働く保護者と職員の権利と生活を保障し、子育てを援助する保育園 ○子育てのヒントを伝え、地域の子育てを応援する、地域に根ざした保育園 		
開所時間 (通所施設のみ)	7:30～18:30 18:30～19:30延長保育		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	9	1		3
1歳児	15	15	1		4
2歳児	15	15	1		3
3歳児	15	15	2	1グループ23名	2名
4歳児	15	16			
5歳児	16	15			
計	85	85	5	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		14人	
うち	保育士	11人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	2人	その他() 人
非常勤職員数		15人 (常勤換算 人)	
うち	保育士	9人 (常勤換算 6.9人)	
	保健師・看護師	人 (常勤換算 人)	
	栄養士・調理員	1人 (常勤換算 0.9人)	
	その他 (保育補助、事務、用務、調理補助)	5人 (常勤換算 人)	
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 2人	非常勤： 5人
	退職	常勤： 2人	非常勤： 4人
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢		37.1 歳 (38.5 歳)	
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		9.1 年 (11 年)	
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	567.9 m ²	
	児童1人あたり	6.68 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	450 m ²	
	児童1人あたり	5.29 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	25年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・ 父母会があり、月1回父母会役員会を開催。園長又は主任が出席し、意見交流等を行っている。
- ・ 保育士体験で参加した保護者へ向け、アンケートを実施。
- ・ あのねボックスを設置している。
- ・ 012歳児には連絡帳のあゆみがあるので、自由記載できるようになっている。
- ・ 年3回の保護者会で意見交換したり、保護者面談を行っている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・ 012歳児の乳児クラスは担当制保育を行っている。子どもとの信頼関係を築き、主に育児面(食事、排泄、着替え、眠り等)については決まった担当保育士が行うことで、子どもは安心して保育園で過ごし、保護者は安心して仕事に向えるよう援助をしている。
- また、345歳児の幼児クラスは二つのグループに分け、異年齢保育を行っている。
- 年齢の違う子どもが同じ空間で過ごすことで、年齢に捉われず、お互いを思いやる気持ちが芽生える。
- また、乳児期から大人との信頼関係をしっかりもち、ていねいな対応することで、幼児になり、自分がしてもらった経験をお友だちにやさしくしたり、小さい子のお世話をしたりなど自然とする姿が見られる。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数(前回の受審時期)

1 回 (平成 29 年度)